

【別添様式2：不適合事象完了報告書】

不適合事象の種類	排ガス異常（区分3）（NO <sub>x</sub> 38.6ppm Hc l 23.8ppm）
不適合事象発生場所	ごみ処理施設 湿式有害ガス除去装置（1号炉）
不適合事象発生日時	平成21年 5月 29日 13時 47分
1) 不適合事象の発生概要	炉立ち下げ時、誤操作により湿式有害ガス除去装置をバイパスさせ、煙突から未処理ガスの排ガスを放出した。
2) 不適合事象の原因	直接の原因は、炉立ち下げ時の誤操作による湿式有害ガス除去装置のバイパスである。その誤操作に至った理由は、①立ち下げ時の自動制御プログラムのうち、湿式有害ガス除去装置停止の判断条件（炉内温度が310度以下、かつNO <sub>x</sub> 濃度が10ppm以下）が欠落し、9時間程度早く「湿式有害ガス除去装置立ち下げ」に進行した。②運転員が自動制御プログラムの異常に気がつかず、「湿式有害ガス除去装置立ち下げ」ステップを進め、バイパスが使用され、排ガス異常を引き起こした。（資料1参照）
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況 無 ②人的被害状況 無 ③二次被害状況 無 ④周辺環境への影響： 無
4) 不適合事象対応	排ガス異常の原因がバイパスであることが判明し、湿式有害ガス除去装置の運転を再開した。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止期間： 0日（0時間） / 低負荷時間： 0時間 復旧日時： 21年 5月 29日 14時 32分
6) 不適合事象対応	①不適合事象対策本部の設置： 無 ②周辺環境調査の実施： 無 ③不適合事象調査委員会の開催 無 ④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 ①自動立ち下げ制御プログラムの修正 ②排ガス異常警報発報時の運転員の対応の再教育を行った。
7) その他	

